

2014年度 数理・物理学科専攻科目教育課程表 (2014年度入学者から適用)

			1年						2年						3年						4年						卒業要件単位数	
			前期(1セメスター)			後期(2セメスター)			前期(3セメスター)			後期(4セメスター)			前期(5セメスター)			後期(6セメスター)			前期(7セメスター)			後期(8セメスター)				
			授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者	授業科目	単位	担任者		
専攻科目	A群	主要科目	解析Ⅰ	2	酒井加藤 本間 張	力学Ⅰ	2	知久				数理・物理学研究法	2				数物ゼミナール	2		卒業研究Ⅰ	4		卒業研究Ⅱ	4		24		
			線形代数Ⅰ	2		電磁気学Ⅰ	2		木村(敬)						輪講Ⅰ	1		輪講Ⅱ	1									
			PCリテラシー	2		PCリテラシー	2		後																			
	B群	数理系科目	解析Ⅰ 演習	2	加藤 本間	解析Ⅱ	2	伊藤 酒井	解析Ⅲ	2		複素関数論Ⅰ	2	複素関数論Ⅱ	2	応用数理Ⅰ	2	応用数理Ⅱ	2	応用数理Ⅲ	2	数理18 物理10						
			線形代数Ⅰ 演習	2		線形代数Ⅱ	2		阿部	線形代数Ⅲ	2	代数学Ⅱ	2		確率過程論		2		数学思想史		2							
						解析Ⅱ 演習	2		加藤	解析Ⅲ 演習	2	幾何学Ⅱ	2		数理統計学		2		数理統計学応用		2							
						線形代数Ⅱ 演習	2		阿部	代数学Ⅰ	2	確率論Ⅱ	2		微分方程式Ⅱ		2											
						集合論	2		阿部	幾何学Ⅰ	2	微分方程式Ⅰ	2															
		物理系科目	物理学概論Ⅱ	2	長澤	天文学概論	2	※1	力学Ⅱ	2		電磁気学Ⅲ	2		熱・統計力学Ⅱ	2		数理解物理学	2		固体物理学	2		相対性理論・宇宙論	2	数理 8 物理 20		
			物理数学Ⅰ	2	木村(敬)	物理学演習Ⅰ	2	木村(敬)	電磁気学Ⅱ	2		量子力学Ⅰ	2		量子力学Ⅱ	2		熱・統計力学Ⅲ	2		半導体物理学	2		ナノサイエンス	2			
物理学概論Ⅰ			2	粕谷	●基礎物理学実験法	2	※2	物理学演習Ⅱ	2		物理学演習Ⅲ	2		計算物理学Ⅰ	2		計算物理学Ⅱ	2		物性物理学	2							
					物理学概論Ⅰ	2	粕谷	●物理学実験Ⅰ	3		熱・統計力学Ⅰ	2		物理学演習Ⅳ	2		量子力学Ⅲ	2		原子核・素粒子物理学	2							
								物理学Ⅱ	2		力学Ⅲ	2		●物理学実験Ⅱ	3		物理学実験Ⅲ	2		特別実習	1							
情報系科目	情報系科目	計算機システム基礎	2	内田 海谷 中山 松尾 田中(賢)	プログラミングⅠ	2	海谷 木下 森口 米澤 中山 松尾	プログラミングⅡ	2	数値計算	2													6				
		情報科学リテラシー	4		プログラミング演習Ⅰ	2		プログラミング演習Ⅱ	2																			
		離散数学Ⅰ	2																									
C群	関連科目				化学概論	4	森	科学技術英語Ⅰ	2		科学技術英語Ⅱ	2		地学実験	2				知的所有権法	2					22			
					地学概論Ⅰ	2		地学概論Ⅱ	2																			
					生物学概論	4		基礎化学実験	3		生物科学実験Ⅰ	3																

*A群は必修科目、B群は選択必修科目である。

※1 本田 橋本

※2 中田 水野 星野 小林(敏)

〔再履修科目 担当者〕 (後)解析Ⅰ〔長〕 (後)線形代数Ⅰ〔土井〕 (後)計算機システム基礎〔平井〕

【備考】

●印は物理コースの「コース必修科目」を示す。

【履修要件】

- 1 同一科目は重複して履修することはできない。
- 2 履修登録できる単位数は、年間49単位、かつ各セメスター30単位を上限とする。ただし、資格教育課程(教職課程等)の科目にはこの制限を適用しない。また、学部長に申請することにより超過履修登録を許可される場合がある。
- 3 上位年次の科目を履修することはできない。但し、専攻科目B群、C群科目は、3年次からの制限を設けない。
- 4 他学部他学科が受講を認めない授業科目は履修できない。
- 5 「科学技術英語Ⅰ」、「科学技術英語Ⅱ」は、外国語科目「上級英語Ⅰ」、「中級英語Ⅰ」、「初級英語Ⅰ」、「基礎英語Ⅰ」から2単位、「上級英語Ⅱ」、「中級英語Ⅱ」から2単位の組み合わせで4単位を修得した者のみ履修できる。
- 6 「解析Ⅰ 演習」は、「解析Ⅰ」、「線形代数Ⅰ 演習」は「線形代数Ⅰ」の履修者が履修できる。「解析Ⅱ 演習」は、「解析Ⅱ」、「線形代数Ⅱ 演習」は「線形代数Ⅱ」の履修者が履修できる。「解析Ⅲ 演習」は「解析Ⅲ」、「線形代数Ⅲ 演習」は「線形代数Ⅲ」の履修者が履修できる。
- 7 「化学概論」の単位を修得した場合は、他学科開講の「化学概論Ⅰ」、「化学概論Ⅱ」の単位を修得しても、卒業要件単位に算入することはできない。
- 8 「生物学概論」の単位を修得した場合は、他学科開講の「生物学概論Ⅰ」、「生物学概論Ⅱ」の単位を修得しても、卒業要件単位に算入することはできない。
- 9 「卒業研究Ⅱ」「輪講Ⅱ」は「卒業研究Ⅰ」「輪講Ⅰ」の単位を修得した者のみ履修できる。

2014年度 数理・物理学科専攻科目教育課程表 (2014年度入学者から適用)

【コース制】

- 1 1年次から「数理コース」及び「物理コース」に分かれる。
- 2 コースの変更を希望する者は、2年次当初又は3年次当初に学部長に申請し、許可を得ること。

【2年次生から3年次生への進級要件】

- 1 2年以上在学し、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち60単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 共通基盤科目FYS(First Year Seminar)2単位および共通基盤科目外国語科目(英語)4単位

【卒業研究Ⅰ・Ⅱ、輪講Ⅰ・Ⅱ履修資格】

- 1 3年以上在学し、次の単位を含めて学則所定の「卒業要件単位数」のうち106単位以上を修得した者
 - (1) 共通基盤科目FYS(First Year Seminar) 2単位、共通基盤科目外国語科目(英語)6単位を含む共通教養科目から28単位以上
 - (2) 卒業研究Ⅰ・Ⅱ及び輪講Ⅰ・Ⅱを除くA群主要科目の全ての科目

【学外単位認定制度】

- 学則第13条及び第13条の2に基づく次の単位は、本学における授業科目の単位とみなし、卒業要件単位数に算入することができる。なお、横浜市内大学間の単位互換科目を履修する場合は、各セメスターの履修制限単位数に含める。
- (1) 本学が主催又は推薦する「海外語学研修制度」所定のプログラムを修了して認定された単位。
 - (2) 文部科学大臣認定の技能審査及びこれに準じる知識及び技能に係る審査に合格した者で、本学における所定の手続きにより認定された単位。
 - (3) 横浜市内大学間の単位互換により修得した他大学の提供科目等で、本学の授業科目として認定された単位。

【数理・物理学科卒業要件】

(数理コース)

授業科目 入学年度 2014年度 入学	共通教養科目										専攻科目					合計
	共通基盤科目							共通教養科目 合計	A群		B群		C群	専攻科目 合計		
	FYS	外国語科目 (英語)	外国語科目 (英語以外)	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野		共通テーマ科目	主要科目	数理系科目	物理系科目	情報系科目		関連科目	
				4	4	4	2	2	32	24	18	8	6	22	96	128
	2	8		6							18					

(物理コース)

授業科目 入学年度 2014年度 入学	共通教養科目										専攻科目					合計
	共通基盤科目							共通教養科目 合計	A群		B群		C群	専攻科目 合計		
	FYS	外国語科目 (英語)	外国語科目 (英語以外)	人文の分野	社会の分野	自然の分野	人間形成の分野		共通テーマ科目	主要科目	数理系科目	物理系科目	情報系科目		関連科目	
	2	8		4	4	4	2	2	32	24	10	20	6	22	96	128
				6							14					

- 1 4年以上在学し、学則所定の「卒業要件単位数」を修得しなければならない。
- 2 共通教養科目から32単位以上修得すること。32単位を超えた単位は、6単位までC群関連科目に算入することができる。
- 3 専攻科目A群主要科目から24単位修得すること。
- 4 専攻科目B群から50単位以上修得すること。50単位を超えた単位は全てC群関連科目に算入することができる。
- 5 理学部他学科の専攻科目(関連科目群を除く)、および他学部他学科の科目の修得単位は全てC群関連科目に算入することができる。

数理コース

- (1) 数理系科目から18単位以上 (2) 物理系科目から8単位以上 (3) 情報系科目から6単位以上
- (4) 上記 (1) ～ (3) の他、B群全体から18単位以上

物理コース

- (1) 数理系科目から10単位以上 (2) 物理系科目から20単位以上 (3) 情報系科目から6単位以上
- (4) 上記 (1) ～ (3) の他、B群全体から14単位以上

- 6 専攻科目C群関連科目は22単位以上修得すること。

- 7 総合理学プログラムから数理・物理学科に所属された学生は、総合理学プログラムの卒業要件に従って履修した専攻科目の修得単位を数理・物理学科の専攻科目に置き換えることができる。

- 8 教職課程登録者は、教職に関する科目のうち「教科教育法Ⅰ(数学)」,「教科教育法Ⅱ(数学)」,「教科教育法Ⅲ(数学)」,「教科教育法Ⅳ(数学)」の8単位まで、または「教科教育法Ⅰ(理科)」,「教科教育法Ⅱ(理科)」,「教科教育法Ⅲ(理科)」,「教科教育法Ⅳ(理科)」の8単位までのいずれかを、C群関連科目に算入することができる。

- 9 学芸員課程の履修登録者は、学芸員に関する科目のうち「博物館教育論」,「博物館概論」,「博物館資料論」,「博物館実習Ⅰ(自然史・文化史資料実習)」の8単位をC群関連科目に算入することができる。